



橋北中学校だより

令和8年9月3日(木)

第 5 号 文責:奥田
津市立橋北中学校

2 学期のはじめに

45日間の夏休みを終え、いよいよ2学期が始まりました。全国各地では地震や大雨などの自然災害により、厳しい状況で新学期を迎えている地域もあります。こうして無事に2学期を迎えることができるのは、決して当たり前のことではないと、あらためて実感させられます。

夏休み中、生徒たちはそれぞれの場面で素晴らしい活躍を見せてくれました。津市の夏季総合体育大会をはじめ、県大会、東海大会、全国大会へとつながる中で、諦めずにハツラツと競技に臨む姿には大きな感動と誇らしさを感じました。運動部だけでなく、吹奏楽部のコンクール、JRC 活動、中学生議会など、様々な場面で輝く姿が見られました。また、3年生が探究学習で各方面に足を運び、調査や研究を深める姿も大変頼もしく感じております。



いよいよ本格的に始まる2学期。各学年ともに成長に向けた大切な時期を迎えます。

1年生: 中学校生活にも慣れ、自分で「気づき、考え、行動する力」を育む段階に入ります。

2年生: 学校の中心的な役割を担う立場として、自分の持ち味を生かしたさらなる活躍が期待されます。

3年生: いよいよ進路と向き合う時期です。受験は「団体戦」でもあります。仲間と励まし合いながら一歩ずつ進んでいきましょう。

日々の生活の中では、すべてが順調に進むわけではありません。思うようにいかず、悩んだり自信を失ったりすることもあるでしょう。そんなときに大切にしてほしいのが、「教えて」「助けて」と言える勇気です。人を頼ることは、決して弱さではありません。「困ったら相談する」「声をあげる」ことができる人は、安心して成長していくことができます。周囲を遠慮なく頼り、助けてもらったら「ありがとう」と伝える。その一言が相手の心を温かくし、次の優しさへとつながっていきます。1学期の経験を土台に、充実した2学期をつくり上げていって欲しいと思っています。

広がる「善意の連鎖」

8月25日の夜、津駅東口でご老人が突然倒れられた際、その場に居合わせた本校の生徒3名が、119番通報や救急隊の誘導、状況説明などを的確に行うという素晴らしい行動がありました。救護にあたられた地域の方から直接学校にお礼のご連絡をいただき、倒れられた方も無事に意識を回復されたとのことでした。

本校で登下校中等にお年寄りを救護したという報告は、今年度これで3度目となります。困っている人を前にして「誰かのために実行する力」が、生徒たちの中に着実に根付いていることを、大変頼もしく思っております。こうした生徒たちの温かい行動が「善意の連鎖」となり、学校だけでなく地域全体へと優しさが広がっていくことを心より願っております。

--	--

